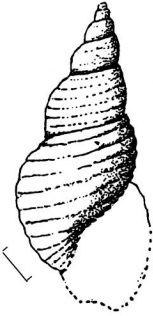
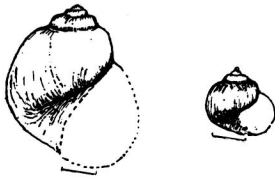


2) 巻貝の仲間



モガミバイ

(中新世) 温水から冷水の50mから200mの海底に棲み、肉食性。



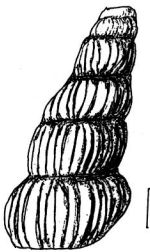
タマガイ

(古第三紀～現世) 冷温から寒冷な海水の海底で、砂のところにもぐって棲み、肉食性。中～大型で、半球状。



キリガイダマシ

(白亜紀～現世) 細長い塔形で、螺層の数が多い。螺条が見られる。



イトカケガイ

(古第三紀～現世) 殻は、薄いものが多く、塔状の円錐形で、殻表には、縦の肋がある。深い海底にすむ。

次の写真のように二枚貝の化石を見ると、殻に穴が開いているのを見かけます。これは、巻貝に食べられた跡です。巻貝が二枚貝にどのようにして穴をあけるかについては、まだはっきりしていませんが、① 唾液腺やそのほかから分泌される化学物質、② 歯舌しぜつによる、③ ①